

国立療養所 菊池恵楓園

基本理念

心と心のふれあいを軸として、豊かな自然環境の中で心身の安らぎと心豊かな療養生活を提供し、地域の方々と共に歩めるように努めます。

基本方針

1. 入所者の個々に応じた医療・福祉に努めます
2. 快適な生活環境を提供し療養生活の充実に努めます
3. 入所者の社会参加に対する支援に努めます
4. 偏見や差別の解消のため更なる啓発活動に努めます
5. 職員の教育・研修に努めます

薬剤科の基本理念

「安全・安心」

- ・ 私たち薬剤師は医療チームの一員として、専門的知識に基づいた安全で適切な薬物療法の提供に貢献します
- ・ 心のふれあいをとおして、患者様の QOL を高めることに寄与いたします

病院紹介

1909年（明治42年）九州7県連合九州らい療養所として開設され、1911年（明治44年）に県知事訓令により九州療養所に改称、さらに1941年（明治16年）に国に移管されると同時に「国立療養所 菊池恵楓園」へと名称を改め、現在に至っています。2019年（令和元年）に創立110周年を迎えた菊池恵楓園の総面積はおよそ18万坪、園の周囲は3.9kmにおよび、日本最大の国立療養所として知られています。入所者数137名、平均年齢87.2歳（令和5年7月現在）の超高齢者施設となっていますが、当園の基本理念である「心と心のふれあいを軸として、豊かな自然環境の中で心身の安らぎと心豊かな療養生活を提供」するために、職員が一丸となって日々活動しています。園内には1951年（明治26年）に建てられた旧事務本館を改築した「社会交流会館」、昨年5月にリニューアルした歴史資料館があり、また昨年7月には面会および交流者宿泊所「かえで荘」もオープンし、社会交流や啓発活動などを行っています。

施設概要

1. 所在地：〒861-1113 熊本県合志市栄 3796 番地
2. 特徴：ハンセン病療養所
3. 診療科：8 診療科 内科、精神科、外科、整形外科、皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科
病床数：395 床
4. 薬剤師数：定数 4 名
薬剤科長 1 名、副薬剤科長 1 名、調剤主任 1 名、薬剤師 1 名、薬剤助手 2 名
5. 主な業務

| | |
|----------------------------|--------------------------|
| (ア) 調剤 | 入院 14,895 枚／年、外来 177 枚／年 |
| (イ) 注射 | 入院 6,869 枚／年 |
| (ウ) 薬剤管理指導件数 | 144 件／年 |
| (エ) 無菌製剤処理件数 | 217 件／年 |
| (オ) 特殊製剤の製剤数 | 799 件／年 |
| (カ) 点眼薬の大型容器への詰め替え調剤後の製剤件数 | 3,318 件／年 |
| (キ) チーム活動 | |

感染制御チーム（ICT）、栄養サポートチーム（NST）、褥瘡予防対策チーム、医療倫理ケアチーム、認知症ケアチーム、エンドオブライフケアチーム、生活機能支援チーム、医療安全管理チーム

6. 特徴的な業務

- ① 一般寮、不自由舎棟への薬剤管理指導と医薬品の配薬
- ② 点眼薬の大型容器への詰め替え調剤
- ③ 主に眼科、皮膚科における特殊製剤
- ④ 創傷被覆・保護材の処方調剤

7. システム・設備

| 項目 | 有・無 |
|-------------|-----|
| 電子カルテ | × |
| 自動錠剤分包機 | ○ |
| 散薬監査システム | ○ |
| 水剤監査システム | × |
| 散剤分包機 | ○ |
| 安全キャビネット | ○ |
| クリーンベンチ | ○ |
| オーダーリングシステム | ○ |

組織目標

1. 良質で安全な医療・介護・福祉の提供
2. 入所者の療養環境改善
3. 入所者の社会参加支援
4. 啓発活動の推進
5. 職員教育・研修の推進
6. 職員確保対策の推進
7. 職員の健康管理の改善
8. ワークライフバランスの推進

薬剤科目標

1. 安全で良質な医療の提供
2. システムを活用した医療安全のさらなる強化
3. 後発医薬品の使用促進による経費削減
4. 働き方改革における業務改革（タスクシフト、タスクシェアリング）